2024 年度　ひろしまの資源を考えるプロジェクトレポート
（ヒロシマのランドスケープ）

【 担当教員 】

学部・学科・専攻	職　名	氏　　名
代表者：芸術学部　美術学科　油絵専攻	教授	志水児王

【 プロジェクトの概要 】

概要：少なくとも３年間は住んでいる広島市内の、基町・横川/宮島/エコリアム中工場といった、あまり知られていない歴史や環境を体験し、作品制作を通じて広島の持つ魅力や課題、資源等の再発見に取り組む。

内容：油絵専攻では基礎課題として人物素描と基本としたアトリエでじっくり観察し人物モデル描写する授業が多く配置されているが、基礎的な観察力と現代社会や地域社会にも目を向ける観察力も必要であると考えている。私の担当している構成演習１～３では与えられたモチーフを配置する場所を大学敷地内全域から自由に探すために歩き回る事から始め、時代性や抽象的な概念を抽出した言葉による自由制作や、インスタレーションを含めた素材を限定しない演習を行なって来た。

まず基町プロジェクトや広島市立大学の地域での貢献活動などを知らない学生が多いようにも感じられるため、今年度も基町にある大学の施設やプロジェクトを視察し、徒歩で移動可能圏内の本川小学校の視察を行う。また昨年度も視察したバスでの移動時間も短い、宮島・エコリアム中工場を視察する。

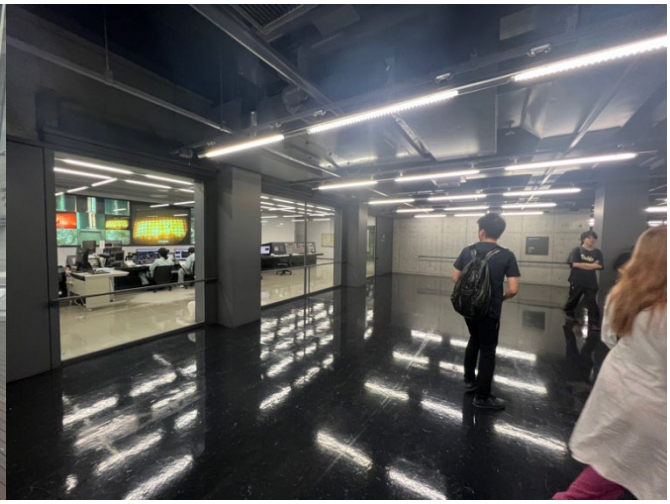
このような経緯で選んだ広島広域の３地域（基町/本川小学校/宮島/エコリアム）に実際に訪れ、それぞれの場所の持つ特性や歴史的な背景を学ぶとともに地域の持つ魅力や資源などを考察し各々の学生自身が直面し、選んだテーマをより深く掘り下げながら制作ができる様にサポートを行いたい。また私たちの住んでいる広島を客観的に考える事によって、より世界（他国などを含めて）へと目を向ける視点が生まれる事を期待したい。

【 プロジェクトでの成果等 】

7/2(火)実習室においてガイダンスを行い、スケジュールなどの確認。その後、広島アーキトーク代表：高田真先生による、ヒロシマのランドスケープと題した講義を 1 コマ受け、広島の風景の変遷を一通り学ぶ。

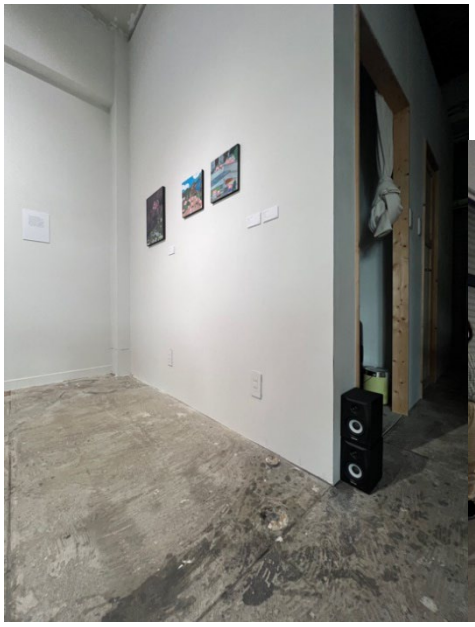
7/3(水)大学から学バスで宮島へ。宮島観光 G による、宮島クルーズを実施(14:00~16:30)、宮島口から学バスに大学へ。

7/4(木)大学から学バスでエコリアム・中工場へ。館内見学(13:30~15:30)。学バスで大学へ。

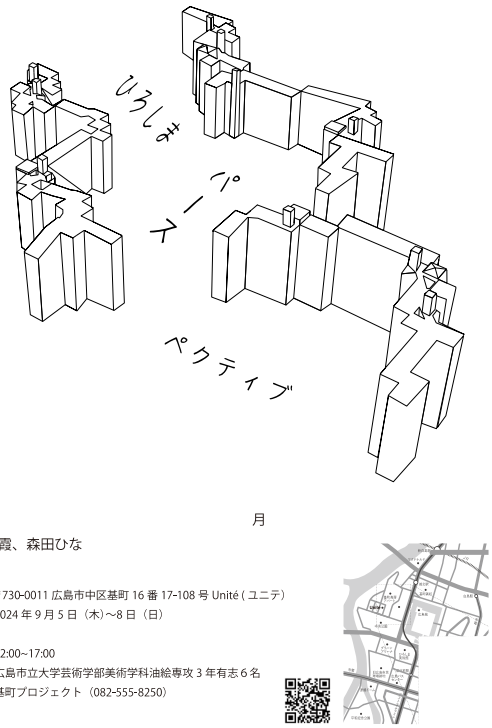


7/5(金)基町プロジェクトスペースに現地集合。基町のレクチャーを受けて、屋上散策へ。現地解散。

これらの現地視察から、どのようなテーマに取り組むか個人面談を行いながら約３週間の制作をした。
学内での全体講評会を得て、基町のユニテにて有志展が開催された。



有志展におけるポスター及びチラシ



普段は油絵を制作している学生がほとんどであるが、立体作品や、視察中に録音した音を楽曲として発表した学生なども見受けられた。昨年は実施できなかった有志展も行い、今後も学内のみならず学外や社会にも目を向け、モチーフやテーマの拡張が期待される。